

第7回 全道工業高校サッカー大会 観戦記

観戦：8月2日（土）大会2日目

観戦者：河本哲夫、北村晃一

快晴の朝、7時に河本会長の山の手高級マンション宅へ到着。その後、札幌場外市場にて差入れを購入後、新川 IC より高速道路にて占冠 IC 経由で日高の大会グラウンドへ。（出発から2時間もかからない。高速が通って、日高も近くなりましたね）

会場グラウンド（芝3面、他1面が新設中）は思った以上に整備されており、試合には好条件だが、猛暑の炎天下。到着と同時に2人ともグッタリ・・・。

早速、差し入れを持っていくも選手達はアップ中。丁度、成田先生、宮武先生がお入り挨拶し、その後、大矢先生も来られました。

参加選手は総勢で33名との話ですが、チーム編成がA・B・Cであり、選手が足りるのか、体力が持つのか？・・・ テント横で待機していると選手達が戻ってきて、選手全員にて差し入れの礼がありました。

試合は10時10分より対 室蘭工戦、13時40分より対 旭川工戦。

両試合ともBピッチにてチームAをグラウンド横で観戦する。炎天下、灼熱もあり気の抜けたプレーも見られたが、総体的に札工のボールポジションが高く、攻守に渡り好プレーが多く見られた。

チェアに座り炎天下でボーッと試合を観戦する二人の老年OB。思わずOB目線からブツブツとつぶやきが。でも時代遅れの見方かな・・・ しかし上手な選手が多いですね～

最終日、プリンスリーグ旭川実業に勝利して優勝とのこと。

（頑張りました）

高校選手権での全道出場を目指して、ガンバロー！！

～北村晃一 記～

～二人の老年OBおっさんのつぶやき～

- ① 前にスペースがあるのに何故、ボールを運ばないのか？（パスの選択肢しか持っていないように見える）スペースがあれば誰でも相手ゴールまで向かっていってもいいのでは。（特にディフェンダー、ミッドフィルダー）
- ② 攻撃時ドリブルでスピードに乗って相手ゴールに迫っているのに何故、簡単にボールを下げるのか？もっと強引に仕掛けてもいいのでは。
- ③ いい流れで攻撃に移るが、簡単にパスカットされ、逆に苦しくなっている。パスの質（方向・強さ・タイミング）が悪すぎる。特にタイミングか。
- ④ パスでボールを受ける時、何故かボールと体が止まる。ボールを受けた瞬間、ボールは止めずにコントロール・ムーブし、次のプレーに早く結びつけないといけない。又、フリーでボールを受けてからのプレーが遅い。（ボールを受けた後の次のプレーは「シュート」か「ドリブル」か「パス」しかないのに。判断力・創造力の不足か）
- ⑤ 攻められている時、数的優位（3人）でボールを奪いに行くも、3人が置いて行かれた。（情けない）体の寄せとカバーリングの意識が必要か！
- ⑥ 相手選手（ボール）との当たり合いで、札工選手は当たりが軽すぎる。
- ⑦ ゴールキーパーからの指示の音が足りない。（声が聞こえない）